

人工膝関節置換(TKA)の手術を受けられる患者さんへ(1日前入院)

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院:1病日	2病日	3病日	4病日	5病日	6病日	7~9病日	10~16病日	17~19病日:退院	
	手術1日前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5~7日目	手術後8~14日目	手術後15~17日目
達成目標	・手術の経過について理解できる		・循環動態が安定している		・離床ができる		・創部の浸出液、発赤などの感染徴候がない ・38.0度以上の発熱がない			・退院指導の内容を理解できる
			・深部静脈血栓症による脚の腫れやしびれ、変色がない ・腓骨神経麻痺の症状がない(下垂足がない、背屈ができる)		・関節可動域訓練ができる					
	・痛みによる苦痛がない									
内服	・薬剤師が、持参薬及び服薬状況について確認します				・痛み止めを1日3回、毎食後に内服します(7日間)					
手術・輸血		手術 	・貯血をした場合は、自己血を輸血します							
注射		・点滴をします 			・点滴を抜きます					
検査	・採血 ・レントゲン ・身長・体重測定  		・採血 ・レントゲン 	・採血 			・採血 	・採血/レントゲン (手術後7日目) 	・採血/レントゲン (手術後14日目)	・体重測定(退院日)
処置	・弾性ストッキングを着用します		・フットポンプをつけます						・フットポンプを外します	・弾性ストッキングを脱ぎます
			・手術室で尿の管を入れます	・尿の管を抜きます						
			・手術室で創部にドレーン(管)を入れます	・ドレーンを抜きます ・ドレーン抜去後はCPMを使用して関節の可動域訓練を開始します(1日2回)						
			・心電図、酸素飽和度モニターをつけます	・心電図、酸素飽和度モニターを外します						
食事	・夕食後は、指示された時間から、飲食はできません	・指示された時間からは絶食です 	・絶食です。医師の指示後、飲水できます		・朝食(常食)から開始となります		・制限はありません			
活動・安静	・制限はありません	・病棟内で過ごしてください 	・ベッド上安静ですが、看護師の介助で横向きになれます ・排便はベッド上で行いますのでナースコールでお知らせください		・ベッド上で頭元を上げ座位になれます。リクライニング操作は看護師が行いますので、ナースコールでお知らせください		・ドレーン抜去後は歩行器を使用し歩行ができます ・初めて歩くときは看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせください		・制限はありません	
清潔	・シャワー浴をしてください	・洗面、歯磨きを済ませてください	・洗面、歯磨きを介助します		・身体を拭きます		・シャワー浴ができます			
リハビリ					・リハビリテーションが始まります 					
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒・転落予防について説明します ・術前オリエンテーションを行います ・深部静脈血栓症予防について説明します		・手術後、医師が説明をします 							・「人工膝関節置換の手術を受けられた患者さんへ」のパンフレットを用いて、退院後の生活について説明します
その他	・同意書は職員にお渡しください ・手足の爪を切り、マニキュアは落としてください ・化粧は落としてください ・深呼吸、床上運動、床上排泄などの術前訓練をします ・手術に必要な物品を確認します【必要物品】 ・T字帯1枚・平オムツ1枚 ・曲がるストロー又は薬のみ ・スプーンやフォーク(必要時) ・リハビリテーションで着用するズボンや靴	・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリ等は外し、各自保管してください。メガネと補聴器は必要時、手術室までつけていきます ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は2階ディルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・深部静脈血栓症予防のため、足首の反り返しを行ってください 							
	・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので、我慢せずにお知らせください 									

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がございましたらいつでもお尋ねください。